

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	279 一般管理運営事業			
総合計画	めざまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち		担当部	環境部
	基本計画【施策】	4-②資源循環型社会を構築する		担当課	ごみ減量課
関連予算科目	一般 会計	04 款 衛生費	02 項 清掃費	01 目	塵芥処理費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	廃棄物処分場管理運営費	細事業名 (事業2)	一般管理運営事業
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託	対象	全市民
事業期間	開始年度	-	終了予定年度	-	
事業の目的	笠子廃棄物処分場及び新居一般廃棄物処分場が常に最良の状態で使用できるように保つ。				
事業の概要	笠子廃棄物処分場と新居一般廃棄物処分場に係る施設の一般維持管理及び車両等の維持管理を行う。				

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	搬入・搬出に係る受付及び車両等の維持管理を行った。					
課題	長期管理に伴う施設等の老朽化対策					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費 (A)	当初予算額	16,189 千円	21,972 千円	23,147 千円	
		決算 (見込) 額	19,904 千円	21,881 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円	0 千円	千円	
		一般財源	19,904 千円	21,881 千円	23,147 千円	
	人件費 (B)		5,030 千円	5,947 千円	千円	
	人工 (職員数の内訳)		0.7 人	0.8 人	人	
トータルコスト (A) + (B)		24,934 千円	27,828 千円	23,147 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	笠子・新居廃棄物処分場施設及び車両等の点検実施率	%	目標	100	100	100
			実績	100	100	千円
		達成度	100.0%	100.0%		

3. 評価 (Check)

総合判定	<p style="text-align: center;">A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>施設及び管理車両の法定点検等維持管理は必要であり、事業内容、実施方法ともに現行水準を維持していくことが適当である。</p>	
------	---	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	事務処理上の改善を図るため、廃棄物処分場の維持管理に係る費用を一本化した。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要 (Plan)

事業名	事業No	280 一般廃棄物処分場管理運営事業			
総合計画	めざまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち		担当部	環境部
	基本計画【施策】	4-②資源循環型社会を構築する		担当課	ごみ減量課
関連予算科目	一般 会計	04 款 衛生費	02 項 清掃費	01 目 塵芥処理費	
	予算事業名	基本事業 (事業1)	廃棄物処分場管理運営費	細事業名 (事業2)	一般廃棄物処分場管理運営事業
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	全市民
事業期間	開始年度	-	終了予定年度	-	
事業の目的	笠子廃棄物処分場及び新居一般廃棄物処分場の浸出水の水質を良好な状態で維持する。				
事業の概要	廃棄物処分場施設における埋立及び水処理施設等の安全な施設維持管理を行う。				

2. 事業の実績 (Do)

事業実績	廃棄物処理法第8条の3及び省令第1条の技術上の基準を遵守した運営を行った。					
課題	①長期埋立管理に伴う笠子廃棄物処分場内の借地買収 ②水処理施設の老朽化対策					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費 (A)	当初予算額	H25から組替 千円	59,706 千円	55,872 千円	
		決算 (見込) 額	千円	56,044 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	千円	13,678 千円	千円	
		一般財源	千円	42,366 千円	55,872 千円	
	人件費 (B)		千円	5,947 千円	千円	
	人工 (職員数の内訳)		人	0.8 人	人	
トータルコスト (A) + (B)		千円	61,991 千円	55,872 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	笠子・新居廃棄物処分場浸出水水質基準値遵守率	%	目標	100	100	100
			実績	100	100	-
		達成度	100.0%	100.0%	-	

3. 評価 (Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>処理水等の法定基準値を遵守した維持管理は必要であり、老朽化する設備の回収に予算等の投入が必要となる。</p>	
------	--	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	水処理施設に伴う設備の老朽化を改善するとともに、雨水対策による負荷の軽減を図った。事務処理上の改善を図るため、廃棄物処分場の維持管理に係る費用を一本化した。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名 事業No	283 廃棄物処分場地主・地元対策事業			
総合計画	めざまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち		担当部 環境部
	基本計画【施策】	4-①環境に対する意識を高める		担当課 ごみ減量課
関連予算科目	一般 会計	O4 款 衛生費	O2 項 清掃費	O1 目 塵芥処理費
	予算事業名	基本事業(事業1) 廃棄物処分場管理運営費	細事業名(事業2) 廃棄物処分場地主・地元対策事業	
実施主体	市	実施方法 市が直接実施・運営	対象 全市民	
事業期間	開始年度 -	終了予定年度 -		
事業の目的	地元住民との良好な関係を維持し、処分場の継続的な使用を図る。			
事業の概要	地主及び地域との円滑な関係を保つと共に処分場の環境整備を行う。			

2. 事業の実績(Do)

事業実績	①笠子廃棄物処分場の運営に係る地主・地元対策を行った。 ②新居一般廃棄物処分場に係る地元対策を行った。					
課題	迷惑施設として地主・地元への配慮及び理解、協力を得る。					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費(A)	当初予算額	H25から組替 千円	878 千円	1,113 千円	
		決算(見込)額	千円	705 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	千円	0 千円	千円	
		一般財源	千円	705 千円	1,113 千円	
	人件費(B)	千円	2,745 千円	千円		
	人工(職員数の内訳)	人	0.3 人	人		
トータルコスト(A)+(B)	千円	3,450 千円	1,113 千円			
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	地主代表者会議等の開催数	回	目標	2	1	1
			実績	2	1	
		達成度	100.0%	100.0%		

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」 《判定理由》 迷惑施設として地主役員等の先進地視察及び地元共生を図るため地域清掃作業への補助は必要であり、事業内容、実施方法ともに現行水準を維持していくことが適当である。	

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
	今後の取組内容(課題に対する改善等)	事務処理上の改善を図るため、廃棄物処分場の維持管理に係る費用を一本化した。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	287 一般廃棄物収集運搬業務委託事業			
総合計画	めざまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち		担当部	環境部
	基本計画【施策】	4-②資源循環型社会を構築する		担当課	ごみ減量課
関連予算科目	一般 会計	O4 款 衛生費	O2 項 清掃費	O1 目 塵芥処理費	
	予算事業名	基本事業(事業1)	廃棄物対策費	細事業名(事業2)	一般廃棄物収集運搬業務委託事業
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託	対象	全市民
事業期間	開始年度	-	終了予定年度	-	
事業の目的	家庭系一般廃棄物を適正に収集し、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。				
事業の概要	家庭系一般廃棄物の収集と運搬を委託して実施する。				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	家庭系一般廃棄物の収集と運搬を委託して実施した。 可燃ごみ、不燃ごみ、剪定枝と草、ペットボトル、飲料水缶、ガラスびん、プラマーク品、白色トレイ、乾電池、スプレー缶、カセットボンベなど						
課題	ごみの収集・運搬に多くの経費がかかる。						
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	事業費(A)	当初予算額	238,806 千円	280,098 千円	281,618 千円		
		決算(見込)額	236,061 千円	266,489 千円	千円		
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円	0 千円	千円		
		一般財源	236,061 千円	266,489 千円	281,618 千円		
	人件費(B)		3,499 千円	3,947 千円	千円		
	人工(職員数の内訳)		0.5 人	0.5 人	人		
トータルコスト(A)+(B)		239,560 千円	270,436 千円	281,618 千円			
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	すべてのごみステーションと資源物回収拠点のうち毎回回収している率		%	目標	100	100	100
				実績	100	100	千円
		達成度	100.0%	100.0%			

3. 評価(Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>すべてのごみステーションと資源物回収拠点から収集、運搬は必要であり、事業内容、実施方法ともに現行水準を維持していくことが適当である。</p>	
------	--	--

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	ごみステーションの新設、移設、廃止については、地元要望に基づいてできるだけ実施した。事務処理上の改善を図るため、廃棄物対策に係る費用を一本化した。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	288 分別・リサイクル等推進事業			
総合計画	めざまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち		担当部	環境部
	基本計画【施策】	4-②資源循環型社会を構築する		担当課	ごみ減量課
関連予算科目	一般 会計	O4 款 衛生費	O2 項 清掃費	O1 目 塵芥処理費	
	予算事業名	基本事業(事業1)	廃棄物対策費	細事業名(事業2)	分別・リサイクル等推進事業
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託	対象	全市民
事業期間	開始年度	-	終了予定年度	-	
事業の目的	資源物の分別を推進し、再資源化を図ると共にごみ減量、リサイクルを推進する。				
事業の概要	分別回収を行い、再資源化、リサイクル、ごみ減量を推進する。 リサイクル活動交付金を支給して、資源化を推進する。 税外収入の確保を目指す。				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	プラスチック製容器包装選別業務を委託して実施した。 リサイクル活動交付金を支給した。 ごみカレンダーを作成した。 資源物回収拠点用備品を購入した。 自治会交付金をすべて自治会へ交付し、ごみステーション等の維持管理を徹底した。					
課題	ごみ出しルールを守らない市民がいる。					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費(A)	当初予算額	86,185 千円	46,461 千円	44,760 千円	
		決算(見込)額	82,180 千円	42,562 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	29,075 千円	20,542 千円	千円	
		一般財源	53,105 千円	22,020 千円	44,760 千円	
	人件費(B)		9,797 千円	11,640 千円	千円	
	人工(職員数の内訳)		1.3 人	1.5 人	人	
トータルコスト(A)+(B)		91,977 千円	54,202 千円	44,760 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	資源物の売却実績	千円	目標	25,000	30,000	30,000
			実績	28,569	35,720	
		達成度	114.3%	119.1%		

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 プラスチック製容器包装選別業務、リサイクル活動交付金の支給、ごみカレンダー作成は必要であり、事業内容、実施方法ともに現行水準を維持していくことが適当である。	

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	市民協働による更なるごみの分別と減量を推進する。 自治会交付金は、27年度から廃止とした。 ごみの減量化をさらに推進するため、小型家電リサイクルの導入を図る。 事務処理上の改善を図るため、廃棄物対策に係る費用を一本化した。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	290 ごみ対策事業			
総合計画	めざまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち		担当部	環境部
	基本計画【施策】	4-②資源循環型社会を構築する		担当課	ごみ減量課
関連予算科目	一般 会計	O4 款 衛生費	O2 項 清掃費	O1 目	塵芥処理費
	予算事業名	基本事業(事業1)	廃棄物対策費	細事業名(事業2)	ごみ対策事業
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託	対象	全市民
事業期間	開始年度	-	終了予定年度	-	
事業の目的	廃棄物の発生を抑制し、再生利用等を促進するとともに、資源の有効な利用の確保、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。				
事業の概要	家庭系一般廃棄物の適正処理とごみステーションの維持管理及び不法投棄対策を行う。				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	ごみ指定袋の作成、ごみステーション等のルール違反対策、不法投棄関連資材購入と不法投棄ごみの処分など環境美化対策を実施した。 平成25年10月から家庭系粗大ごみの戸別収集を実施した。					
課題	ごみ出しルールを守らない市民がいる。(資源化しない、曜日を守らないなど) 不法投棄が市内各地で発生しており、対策強化が必要である。					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費(A)	当初予算額	32,328 千円	29,030 千円	44,320 千円	
		決算(見込)額	26,208 千円	29,990 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	26,208 千円	29,990 千円	千円	
		一般財源	0 千円	0 千円	44,320 千円	
	人件費(B)		7,785 千円	10,725 千円	千円	
	人工(職員数の内訳)		1.0 人	1.4 人	人	
トータルコスト(A)+(B)		33,993 千円	40,715 千円	44,320 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	ルール違反ごみの発生量	kg	目標	29,000	28,000	28,000
			実績	28,265	13,790	
		達成度	97.5%	49.3%		

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 ごみ指定袋の作成、ごみステーションや資源物回収拠点用の資材支給、ルール違反対策品の購入等は必要であり、現行水準を維持していくことが適当である。	

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	ルール違反のひどい場所については、監視カメラの設置等の対策を実施した。 平成25年10月から家庭系粗大ごみの戸別収集を実施した。 事務処理上の改善を図るため、廃棄物対策に係る費用を一本化した。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	291 可燃ごみ処分委託事業			
総合計画	めざまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち		担当部	環境部
	基本計画【施策】	4-②資源循環型社会を構築する		担当課	ごみ減量課
関連予算科目	一般 会計	04 款 衛生費	02 項 清掃費	01 目 塵芥処理費	
	予算事業名	基本事業 (事業1)	廃棄物対策費	細事業名 (事業2)	可燃ごみ処分委託事業
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託	対象	その他 浜松市
事業期間	開始年度	平成22年度	終了予定年度	-	
事業の目的	廃棄物の発生を抑制し、再生利用等を促進するとともに、資源の有効な利用の確保、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。				
事業の概要	湖西市内で排出される一般廃棄物のうち、可燃ごみの処理を浜松市へ委託する。年間協定数量に委託単価を乗じる。清算は翌々年度に行う。				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	浜松市へ可燃ごみ処理を委託した。 20,500円/t × 18,800 t /年 = 385,400,000円 23年度の搬入量実績と事業系一般廃棄物手数料の清算					
課題	浜松市へ搬入量に応じて、委託費がかかるため、各種ごみ減量対策の実施が必要。					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費 (A)	当初予算額	343,040 千円	285,621 千円	273,592 千円	
		決算(見込)額	343,040 千円	285,621 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円	0 千円	千円	
		一般財源	343,040 千円	285,621 千円	273,592 千円	
	人件費 (B)		3,761 千円	6,522 千円	千円	
	人工(職員数の内訳)		0.5 人	0.9 人	人	
トータルコスト (A) + (B)		346,801 千円	292,143 千円	273,592 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	ステーション可燃ごみ収集量	トン	目標	9,700	9,500	9,500
			実績	9,250	9,183	千円
		達成度	95.4%	96.7%		

3. 評価(Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>浜松市への可燃ごみ処理委託は必要であり、現行水準を維持していくことが適当である。</p>	<p>必要性</p> <p>有効性</p> <p>優先性</p> <p>効率性</p>
------	--	---

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	可燃ごみを減量するために雑がみの分別収集を推進した。事務処理上の改善を図るため、廃棄物対策に係る費用を一本化した。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	292 ごみ減量化推進事業			
総合計画	めざまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち		担当部	環境部
	基本計画【施策】	4-②資源循環型社会を構築する		担当課	ごみ減量課
関連予算科目	一般 会計	O4 款 衛生費	O2 項 清掃費	O1 目 塵芥処理費	
	予算事業名	基本事業(事業1)	廃棄物対策費	細事業名(事業2)	ごみ減量化推進事業
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託	対象	全市民
事業期間	開始年度	-	終了予定年度	-	
事業の目的	廃棄物の発生を抑制し、再生利用等を促進するとともに、資源の有効な利用の確保、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図る。				
事業の概要	木枝・草の資源化及び選別業務委託 木製家具等の粗大ごみの資源化 ごみ分別・減量説明会の開催 生ごみ減量講習会の開催 生ごみ処理容器購入補助				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	木枝・草の資源化処理を実施した。 ごみ分別・減量説明会や生ごみ減量講習会を開催した。 イベントやスーパーでの啓発活動を実施した。 古布回収拠点の増設(新居支所)、古布臨時回収を実施した。 生ごみ処理容器購入費の一部補助を実施した。 広報紙やホームページで減量について掲載した。 平成25年9月からふれあい収集を実施した。					
課題	ごみ減量を推進しているが、ごみ量の減少が少ない。 生ごみ処理容器購入費補助の件数が少ない。					
コスト	事業費(A)	当初予算額	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		決算(見込)額	24,767 千円	41,147 千円	44,129 千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	2,215 千円	6,474 千円		
		一般財源	19,170 千円	33,020 千円	44,129 千円	
	人件費(B)	9,797 千円	9,894 千円			
	人工(職員数の内訳)	1.3 人	1.3 人			
	トータルコスト(A)+(B)	31,182 千円	49,388 千円	44,129 千円		
活動指標	内容	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		回	目標	35	40	40
			実績	120	82	
達成度	342.9%	205.0%				

3. 評価(Check)

総合判定	A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」	
	《判定理由》 木枝・草の資源化処理、ごみ分別・減量説明会、生ごみ処理容器購入補助等は必要であり、事業内容、実施方法ともに現行水準を維持していくことが適当である。	

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	ごみ減量を推進するため、ごみ減量・分別講習会の実施回数を平成24年度から増やし、事業の強 平成25年9月からふれあい収集を実施した。 事務処理上の改善を図るため、廃棄物対策に係る費用を一本化した。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	293 ごみ処理施設一般管理事業			
総合計画	めざまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち		担当部	環境部
	基本計画【施策】	4-②資源循環型社会を構築する		担当課	ごみ減量課
関連予算科目	一般 会計	O4 款 衛生費	O2 項 清掃費	O1 目 塵芥処理費	
	予算事業名	基本事業 (事業1)	ごみ処理施設管理運営費	細事業名 (事業2)	ごみ処理施設一般管理事業
実施主体	市	実施方法	市が直接実施・運営	対象	全市民
事業期間	開始年度	-	終了予定年度	-	
事業の目的	環境センターが常に最良の状態で使用できるように保つ。				
事業の概要	環境センターの設備維持管理に伴う日常管理を行う。				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	運搬車両及び施設設備機器等に係る維持管理保守点検などを行った。					
課題	ごみ処理施設車両管理事業を統合					
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	事業費 (A)	当初予算額	10,386 千円	18,186 千円	22,356 千円	
		決算(見込)額	8,795 千円	16,222 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円	0 千円	千円	
		一般財源	8,795 千円	16,222 千円	22,356 千円	
	人件費 (B)		6,036 千円	8,235 千円	千円	
	人工(職員数の内訳)		0.8 人	1.1 人	人	
トータルコスト (A) + (B)		14,831 千円	24,457 千円	22,356 千円		
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度
	環境センター施設及び管理車両の法定点検実施率	%	目標	100	100	100
			実績	100	100	千円
		達成度	100.0%	100.0%	千円	

3. 評価(Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>施設の運営に伴い維持管理基準を遵守した管理は必要であり、事業内容、実施方法ともに現行水準を維持していくことが適当である。</p>	<p>必要性</p> <p>有効性</p> <p>優先性</p> <p>効率性</p>
------	--	---

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	事務処理上の改善を図るため、環境センターの運営、維持管理に係る費用を一本化した。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	295 ごみ処理施設運営事業			
総合計画	めざまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち		担当部	環境部
	基本計画【施策】	4-②資源循環型社会を構築する		担当課	ごみ減量課
関連予算科目	一般 会計	O4 款 衛生費	O2 項 清掃費	O1 目	塵芥処理費
	予算事業名	基本事業 (事業1)	ごみ処理施設管理運営費	細事業名 (事業2)	ごみ処理施設運営事業
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託	対象	全市民
事業期間	開始年度	-	終了予定年度	-	
事業の目的	資源循環型社会を実現するため、資源の有効な利用の確保を図る。				
事業の概要	環境センターのリサイクルプラザの管理及び運営を行う。				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	搬入された廃棄物の破砕・選別、資源化、運搬、処理を法定基準内で滞りなく行った。また、家庭系持込ごみの有料化をH25.10月から実施した。
課題	設置が平成10年であったので、いろいろな機械が寿命となっている。

		平成24年度	平成25年度	平成26年度		
コスト	事業費 (A)	当初予算額	294,259 千円	271,348 千円	258,559 千円	
		決算(見込)額	264,298 千円	253,401 千円	千円	
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	千円	35,361 千円	千円	
		一般財源	264,298 千円	218,040 千円	258,559 千円	
	人件費 (B)	9,054 千円	8,235 千円	千円		
	人工(職員数の内訳)	1.2 人	1.1 人	人		
	トータルコスト (A) + (B)	273,352 千円	261,636 千円	258,559 千円		
活動指標	内容	単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
		トン	目標	3,600	3,700	3,700
			実績	4,156	4,155	
達成度	115.4%	112.3%				

3. 評価(Check)

総合判定	<p>A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>廃棄物処理施設の維持管理基準を遵守した運営は必要であり、今後、老朽化した機械の更新等にさらなる予算等の投入が必要となる。</p>	
------	--	--

4. 今後の事業の方向性 (Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容 (課題に対する改善等)	平成25年10月から家庭系持込みごみを有料化した。ごみの減量化をさらに進めるため、小型家電リサイクルの導入を図る。事務処理上の改善を図るため、環境センターの運営、維持管理に係る費用を一本化した。

平成26年度 ★実施計画 事業評価シート (25年度事業の評価)

1. 事業の概要(Plan)

事業名	事業No	296 ごみ焼却場解体事業			
総合計画	めざまちの姿	4 自然と環境に配慮したきれいなまち		担当部	環境部
	基本計画【施策】	4-②資源循環型社会を構築する		担当課	ごみ減量課
関連予算科目	一般 会計	04 款 衛生費	02 項 清掃費	01 目	塵芥処理費
	予算事業名	基本事業(事業1)	ごみ処理施設管理運営費	細事業名(事業2)	ごみ焼却場解体事業
実施主体	市	実施方法	一部又は全部委託	対象	全市民
事業期間	開始年度	平成24年度	終了予定年度	平成29年度	
事業の目的	役目を終えたごみ焼却施設について、早期に施設を解体し、跡地の有効利用による効率的な行政経営を図る。				
事業の概要	廃止した新居ごみ焼却施設の解体を行う。				

2. 事業の実績(Do)

事業実績	①焼却設備解体設計を委託した。 ②都市計画決定の解除を行った。						
課題	解体に伴うダイオキシン類等の環境対策に膨大な費用を要する						
コスト			平成24年度	平成25年度	平成26年度		
	事業費(A)	当初予算額	4,119 千円	6,920 千円	1,080 千円		
		決算(見込)額	3,335 千円	5,659 千円	千円		
	財源内訳	特定財源 ※国・県補助金など	0 千円	0 千円	千円		
		一般財源	3,335 千円	5,659 千円	1,080 千円		
	人件費(B)		5,030 千円	4,575 千円	千円		
	人工(職員数の内訳)		0.7 人	0.6 人	人		
トータルコスト(A)+(B)		8,365 千円	10,234 千円	1,080 千円			
活動指標	内容		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	計画工程進捗率		%	目標	100	100	100
			実績	100	100	千円	
		達成度	100.0%	100.0%			

3. 評価(Check)

総合判定	<p style="text-align: center;">A 「充実」または「事業内容が概ね適切な事業」</p> <p>《判定理由》</p> <p>今後、解体工事を実施するために予算等の投入が必要となる。</p>	
------	--	--

4. 今後の事業の方向性(Action)

今後の方向性	事業の方向性	継続
今後の方向性	今後の取組内容(課題に対する改善等)	解体工事には膨大な費用を要するため、跡地利用の関係課や財政担当と確認しながら事業を